



クリーンアップ

ひぬま

Vol.44
2021.9

<http://www.hinuma-network.jp>

ネットワークだより

令和3年度 定期総会を開催しました

令和3年5月29日に開催を予定しておりました「令和3年度定期総会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催とし、会員の皆様からの書面表決の結果、全ての議案が承認されました。

なお、本総会において、平成25年度より会長でありました谷萩 八重子氏が退任して顧問に就任、副会長でありました水野 恵美子氏が会長に就任しましたので御報告いたします。

また、今年度の行事については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、少しでも多くの事業が実施できるよう計画してまいります。今後の感染状況によっては、事業規模の縮小や事業中止等も想定されますので、詳しくは、ホームページで御確認下さい。

〈 令和3年度 事業計画 〉

広 報 啓 発 事 業

- ① 水質浄化ポスターの募集及び展示
- ② ひぬまフォトコンテストの実施
- ③ 広報紙の発行(年2回)
- ④ ホームページの運営
- ⑤ ひぬま環境フォーラムの実施(11月開催予定)
- ⑥ 水質浄化キャンペーン(流域市町単位で実施)



実 践 活 動 事 業

- ① ひぬま流域クリーン作戦の実施
- ② ひぬま流域ウォッチングの実施
- ③ 環境イベント等への参加
- ④ 水質浄化功労者の表彰
- ⑤ 一斉清掃活動の実施(流域市町単位で実施)
- ⑥ 学校における環境学習活動への支援



クリーンアップひぬまネットワーク新会長挨拶



クリーンアップひぬま
ネットワーク

新会長

水野 恵美子

会長に就任しました水野恵美子でございます。本会発足以前より涸沼の環境保全に御尽力されました廣瀬 誠初代会長、谷萩 八重子前会長の跡を継ぐこととなりました。

「クリーンアップひぬまネットワーク」は、涸沼流域の住民・各種団体・企業・行政、学校が協働し、積極的に涸沼の水質浄化や自然環境の保全に取り組んでいます。

汽水湖である涸沼は、ヤマトシジミやヒスマイトトンボなど、貴重な動植物の宝庫であり、多くの水鳥が飛来する、豊かな美しい湖沼のひとつです。2018年の第17回世界湖沼会議で来られた海外の方からも、国際的に重要な湿地や水鳥等が保全されていると、とても高く評価されました。

しかし、涸沼も他の湖沼と同様にプラスチック製品などのごみが多く、私たちも大量生産、大量消費の生活の見直しに自覚を持たなくてはなりません。海にまで流れ着いたマイクロプラスチックは、地球の生態系に影響します。2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の17の目標「持続可能な開発目標(SDGs)」を意識しつつ、廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めていくことも大事です。

私たちは、少しでもよい環境を保全したいとの思いがあります。今後も会として二つのP(プラクティス(実践)とピーアール(広報))を行い、一人一人が当事者意識を持って頂けるよう、ひぬま流域クリーン作戦、ひぬまフォトコンテスト、涸沼水質浄化ポスターなど楽しく実践できる自然環境保全活動に力を注ぎますので、なお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

コロナ禍の今、心の安らぎ求め涸沼へ



クリーンアップひぬま
ネットワーク

顧問 谷萩 八重子

現在、我が家の蔵の軒先に、今年もステキなお客様が来ています。それは「ツバメ」です。番い（つがい）で忙しそうに作業中です。家族の姿を見ると近くに寄ってきて、あいさつのようなしぐさをします。このコロナ禍の中で、なんと愛らしい姿に心が和む日々です。

さて、涸沼は、平成27年に国際的な重要な湿地として「ラムサール条約」に登録され、その後、平成30年には、つくば市で開催された「第17回世界湖沼会議」において、涸沼の魅力を全国・世界に向けて発信し、参加された方々に関心を持っていただきました。

涸沼の特色といえば、シジミ（ヤマトシジミ）は、島根県の宍道湖・青森県の十三湖とともに日本三大シジミの一つであり、ヒメマイトトンボ（絶滅危惧種）の成育地でもあります。初冬には、多くの水鳥が飛来します。特にスズガモが多く見受けられます。オオワシについては、20数年来同じ鳥が飛来することによって人気があり、多くのカメラマンでにぎわいます。

「湖は流域を映す鏡である」と言われています。涸沼はまさしくそのとおりであり、流域の皆様の支えなくして、水質浄化や自然環境保全には繋がりません。

クリーンアップひぬまネットワークは、今後も環境教育や水質浄化に力を入れた活動をしてまいりたいと考えております。ぜひ、関心をお持ちの皆様一緒に活動をしてみませんか。心よりお待ち申し上げます。コロナ禍の今、心の安らぎを求めて、涸沼を訪ねてみてはいかがでしょうか。

涸沼の植物

～希少な植物の生息地でもある！～

涸沼には、野鳥・昆虫・魚だけではなく、300種以上の植物が生息しており、魚の産卵場所になったり様々な動物にすみかやエサを提供するなど、生態系を多様化しています。



【アイアシ】

茨城県：絶滅危惧ⅠB類

茨城県では、まれに涸沼の周辺で見られます。生育地では、ヨシ群落と共に見られ、葉は一見ヨシに似ていますが、花期は初夏で果穂は明らかに異なります。



【オオクグ】

環境省：準絶滅危惧

茨城県：絶滅危惧ⅠB類湿地

汽水湿地に成育する植物
初夏に開花し、上部の穂は雄花・下部の2～4個の穂は雌花で、シオクグと隣接して成育していくことがあります。



【ミズオオバコ】

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

茨城県：絶滅危惧Ⅱ類

形はオオバコの葉に似ており、夏～秋に葉の間から花茎を伸ばし水面に白色から淡紅色の花をつけます。涸沼周辺ではまれに水田で見られます。

涸沼には他にも、ミズアオイ（準絶滅危惧）・タコノアシ（準絶滅危惧）や汽水湿地に成育するシオクグ（絶滅危惧Ⅱ類）なども生息しています。 ※（ ）内は茨城県のレッドデータ

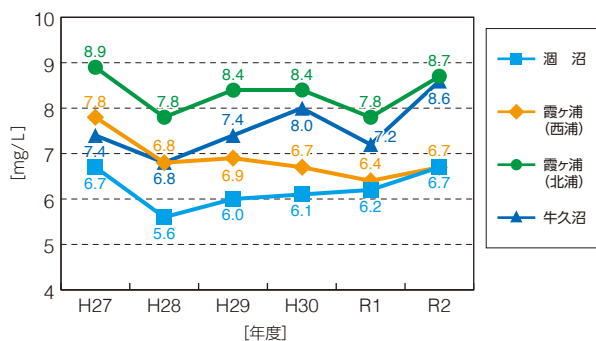
レッドデータブック

※左側のもののほど絶滅の恐れが高い。（参照：環境省レッドデータブックより）

絶滅 > 野生絶滅 > 絶滅危惧ⅠA類 > 絶滅危惧ⅠB類 > 絶滅危惧Ⅱ類 > 準絶滅危惧 > 情報不足

令和2年度 潟沼の水質・潟沼流入河川の水質について～茨城県県民生活環境部環境対策課～

潟沼及び県内湖沼のCOD（年平均値）



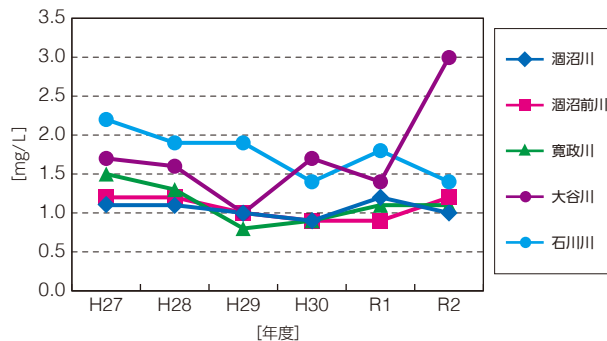
令和2年度の潟沼の、COD（※1）は6.7mg/Lであり、令和元年度と比較すると上昇しましたが、長期的には横ばいです。

なお、霞ヶ浦の西浦が6.7mg/L、北浦が8.7mg/Lで、牛久沼は8.6mg/Lでした。

※1 COD（化学的酸素要求量）とは… 湖や海の汚れの程度を表す代表的な指標。数値が高いほど、汚れが大きい。

※2 BOD（生物学的酸素要求量）とは… 川の汚れの程度を表す代表的な指標。数値が高いほど、汚れが大きい。

流入河川BOD（年平均値）



潟沼に流入する主要5河川のBOD（※2）は、長期的に横ばいですが、令和2年度は大谷川について上昇が見られました。



新規会員随時募集中

一緒に水質浄化や環境保全活動に取り組み 美しい潟沼を残しませんか？

クリーンアップひぬまネットワークは「恵み豊かで美しい潟沼の創造を目指して」を理念に、潟沼の自然を保全し将来に残していくために、平成13年3月に潟沼流域（水戸市・笠間市・鉾田市・茨城県・大洗町・城里町）の住民・事業者・団体・行政が一体となって設立された団体です。

「ひぬま流域ウォッチング」や「環境フォーラム」は、小さなお子様でも参加できる内容となっております。会員になって、ご家族・お友達と自然に触れながら、環境保全活動に取り組んでみませんか。



ひぬま流域クリーン作戦



ひぬま流域ウォッチング



環境フォーラム

入会費・年会費は無料です。

入会方法については、当ネットワークホームページの「入会の御案内」をご覧ください。事務局までお問合せ願います。



クリーンアップひぬまネットワーク事業のお知らせ

◆ 第21回 ひぬま環境フォーラム

- 日 に ち** 令和3年11月28日(日)
- 場 所** いこいの村潤沼(銚田市)
- 内 容**
- 水質浄化ポスター入賞者表彰式
 - 第15回ひぬまフォトコンテスト入賞者表彰式
 - 令和3年度水質浄化活動功労者の表彰式

※内容の詳細については、
決定次第当ネットワークのホームページ
で公表させていただきます。

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています

クリーンアップひぬまネットワークでは、イオングループが実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています(登録店舗:イオン笠間店)。このキャンペーンは、毎月11日にレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地元ボランティア団体など応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%が、その団体に品物で寄贈されるものです。

令和3年度は、軍手を贈呈いただき、今年の「ひぬま流域クリーン作戦」「ひぬま流域ウォッチング」に、活用させていただく予定です。

読者プレゼントクイズ

8	4		1	5	2	6		7
7		3		□	6			5
		5	9	7		4		
5	8		2		7		6	9
3	□	7		9	5	8	□	4
6		2	4	3	8		7	
2	3				4	7		6
9	5		7	□	1	2		
4		6	3			1		

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの□に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で10名の方に「オリジナルエコバック」を、10名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします。たくさんの御応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」を御記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 令和3年 11月 15日(月)の消印有効です。

前回の解答 ネットワークだよりVol.43ナンバーナインの答えは「16」でした。
73通の応募があり、うち正解は72通でした。たくさんの御応募ありがとうございました。



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージを御紹介いたします～

- ★ 数年前「潤沼川のサケを見る会」に親子で参加し、こんな身近な川にも豊かな自然があることにおどろかされました。
- ★ 潤沼川の上流に住んでいます。自宅の前はすぐ川です。小さい頃から魚釣りや川で泳いだり楽しい思い出がたくさんあります。6月になるとホタルが家まで飛んできますが、だんだん少なくなってきて、昨年は1匹しか見られませんでした。今年も、ホタルが見られることを願っています。

- ★ 自然豊かな潤沼を守るため『やさしいきもち』を大切にしたいと思います！
- ★ 近くに潤沼川が流れています。子どもたちが魚釣りをしている光景がほほえましいです。いつまでも釣りが出来る川である事を願います。



たくさんのメッセージ
ありがとうございました!!



■ 発行: クリーンアップひぬまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978番6 (茨城県県民生活環境部環境対策課内) TEL 029-301-2968

